

所管事項に関する資料

< 目 次 >

- 1 新市庁舎建設事業について P 1
- 2 地域コミュニティのしくみづくりについて P 9

企画財政部

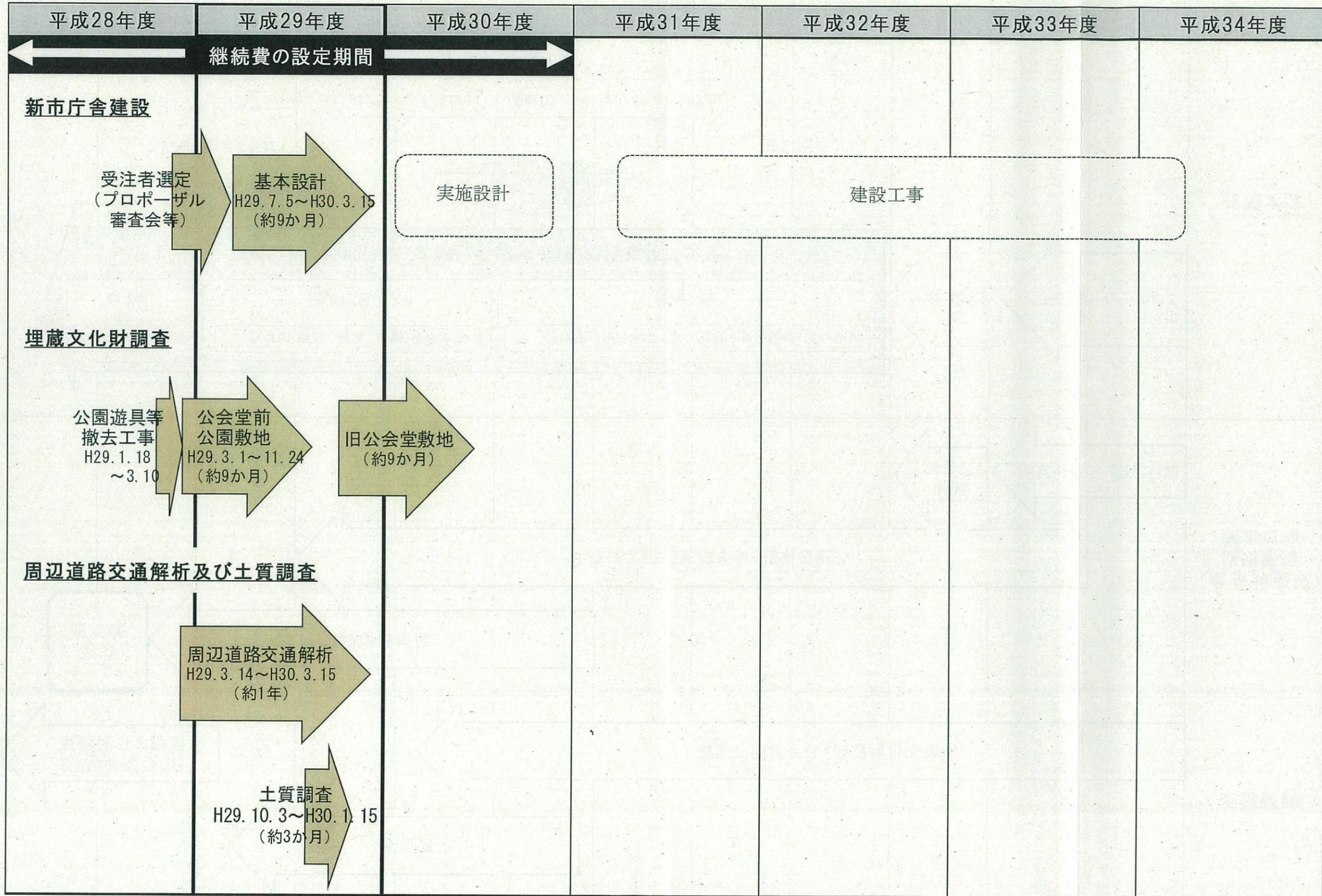
平成29年11月



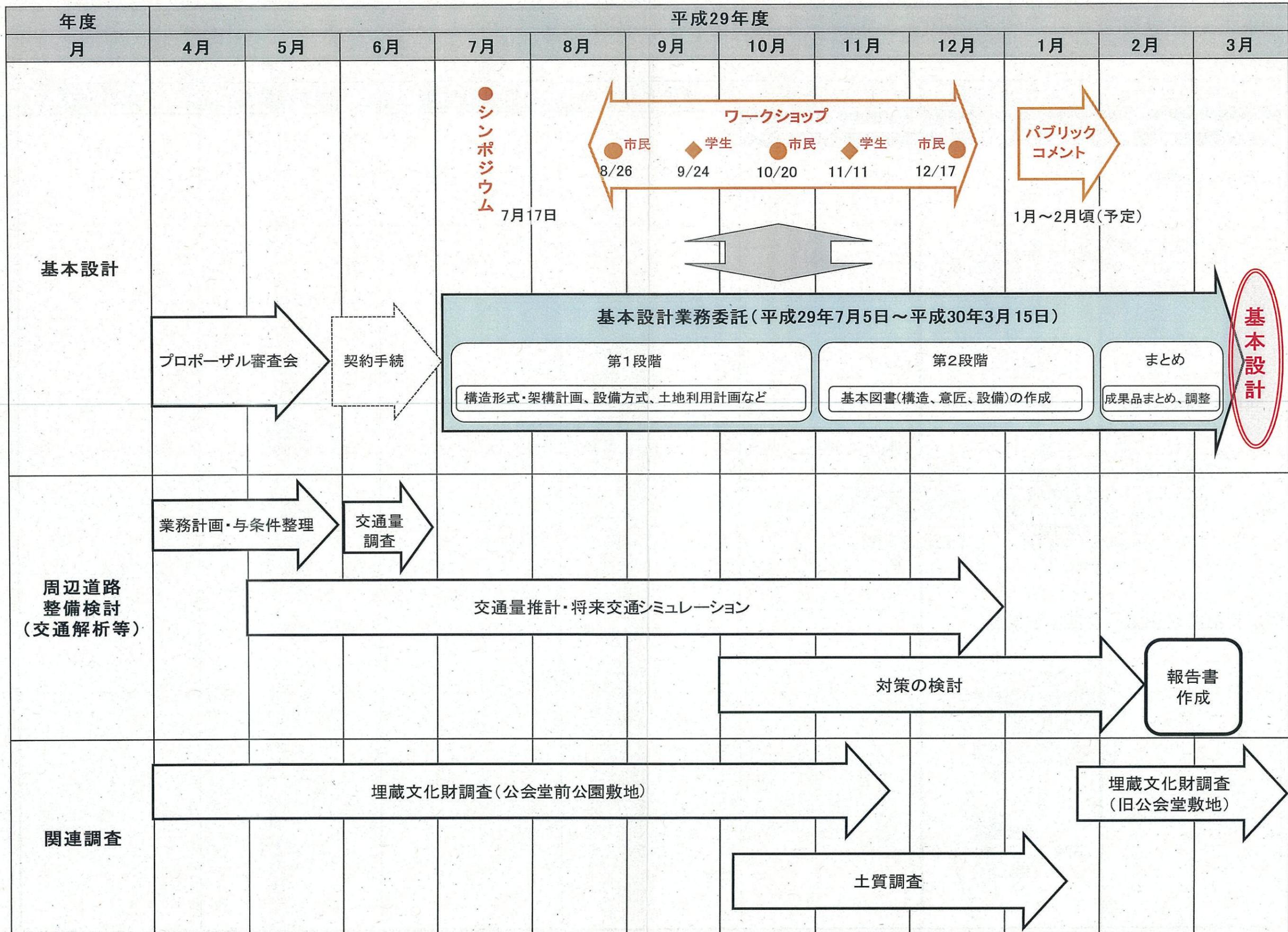
1 新市庁舎建設事業について

(1) スケジュール

ア 全体スケジュール



イ 平成29年度のスケジュール



(2) 市民への意見聴取について（9月市議会定例会以後の動き）

新庁舎建設に係る市民等への意見聴取を目的に、次のとおりワークショップを開催した。

ア 新庁舎建設 学生ワークショップ（第1回）

【日 時】平成29年9月24日（日） 13:00～17:20

【場 所】長崎県勤労福祉会館 2階講堂

【参加者】市内の大学、短期大学、専門学校、高等学校に通学する学生 計50人

【内 容】

- 新庁舎建設のこれまでの取り組みの説明
- フィールドワーク
（現庁舎見学）＜市民利用空間、窓口など＞
- グループワーク1
（現庁舎のイイ所・イマイチな所）
- 技術提案内容についての説明
- グループワーク2
（技術提案内容の説明を受けて感じたこと）
- 設計者及び長崎市からのコメント

【主な意見】

- 技術提案内容の説明を受けて感じたこと
 - ＜使いやすさについて＞
 - ・全ての窓口が見えるように吹き抜けであるところがよい
 - ・開放的すぎる反面、セキュリティ・プライバシーの問題は大丈夫なのか など
 - ＜環境への配慮について＞
 - ・省エネや温暖化の対策がされているところがよい
 - ・環境についての問題はどうするのか など
 - ＜賑わいの創出について＞
 - ・レストランや展望ロビーの利用等、たくさんの人が来やすい工夫がされている
 - ・開放的になっているが、自分から行きたいと思うかどうか など
 - ＜デザイン性について＞
 - ・オフィスが広く、中央部に吹き抜けがあることで、明るい印象を受ける
 - ・外観の印象が残りやすい など
 - ＜活用について＞
 - ・おくんち等長崎のいろいろなイベントに溶け込めるように工夫してほしい など
 - ＜防災について＞
 - ・災害に強い建物であるところがよい
 - ・機械室を上にすることでメンテナンスはどうするのか など



イ 新庁舎建設 市民ワークショップ（第2回） ※第1回は8月26日に開催済み

【日 時】平成29年10月20日（金） 18:30～21:30

【場 所】メルカつきまち 5階ホール

【参加者】地元自治会、高齢者福祉関係、障害者福祉関係、子育て関係、防災関係、市民活動・まちづくり関係及び経済・観光関係の団体の推薦者並びに公募市民 計47人

【内 容】

- 第1回ワークショップの振り返り
- 長崎市が進めるまちづくりに関する説明
- 現時点での設計案の説明
- グループワーク
- 設計者及び長崎市からのコメント

【主な意見】

<機能・配置について>

- ・観光案内やさるくの受付、出発の拠点として利用してはどうか
- ・オープンなミーティングスペースが多くあった方が、市民活動もしやすくつながりも生まれやすい
- ・展望フロアや低層部の屋上を活用してほしい
- ・災害時の避難場所として多目的スペースを活用してもよいのではないか など

<アクティビティ（活動）について>

- ・くんちをはじめとしたイベントが開催できる広場としてはどうか
- ・コンサートやカフェとして利用できるスペースを、市民や観光客の交流の場としてほしい
- ・様々な団体の活動を発表できる場として多目的スペースを活用したい など

<デザインについて>

- ・長崎らしさ（スタンドグラスや和華蘭文化）を活かす
- ・街並みに溶け込んだ、街並みを創るという視点でデザインしてほしい など



ウ 新庁舎建設 学生ワークショップ（第2回）

【日 時】平成29年11月11日（土） 13:00～16:00

【場 所】長崎商工会館 2階ホール

【参加者】市内の大学、短期大学、専門学校、高等学校に通学する学生 計44人

【内 容】

- 第1回ワークショップの振り返り
- 現時点での設計案の説明
- グループワーク
- 設計者及び長崎市からのコメント

【主な意見】

<「誰もが使いやすい」新庁舎とするためには>

- ・どこの入口からも車イス利用者が入れるようにしてはどうか
- ・展望テラスにカフェを置く場合、1階に看板を出すなどの工夫が必要ではないか など

<「環境にやさしい」、「災害に強い」新庁舎とするためには>

- ・テラスに緑を増やすと建物内が涼しくなるのではないか
- ・災害時に届いた救援物資を保管、分配するスペースが必要ではないか など

<「デザイン性のある」新庁舎とするためには>

- ・歴史的な外観デザインを取り入れるとよいのではないか
- ・外国の方が見て楽しめるように和風なデザインがよいのではないか
- ・市民が使いやすいだけでなく、観光客や職員にも使いやすいデザインにしてほしい など

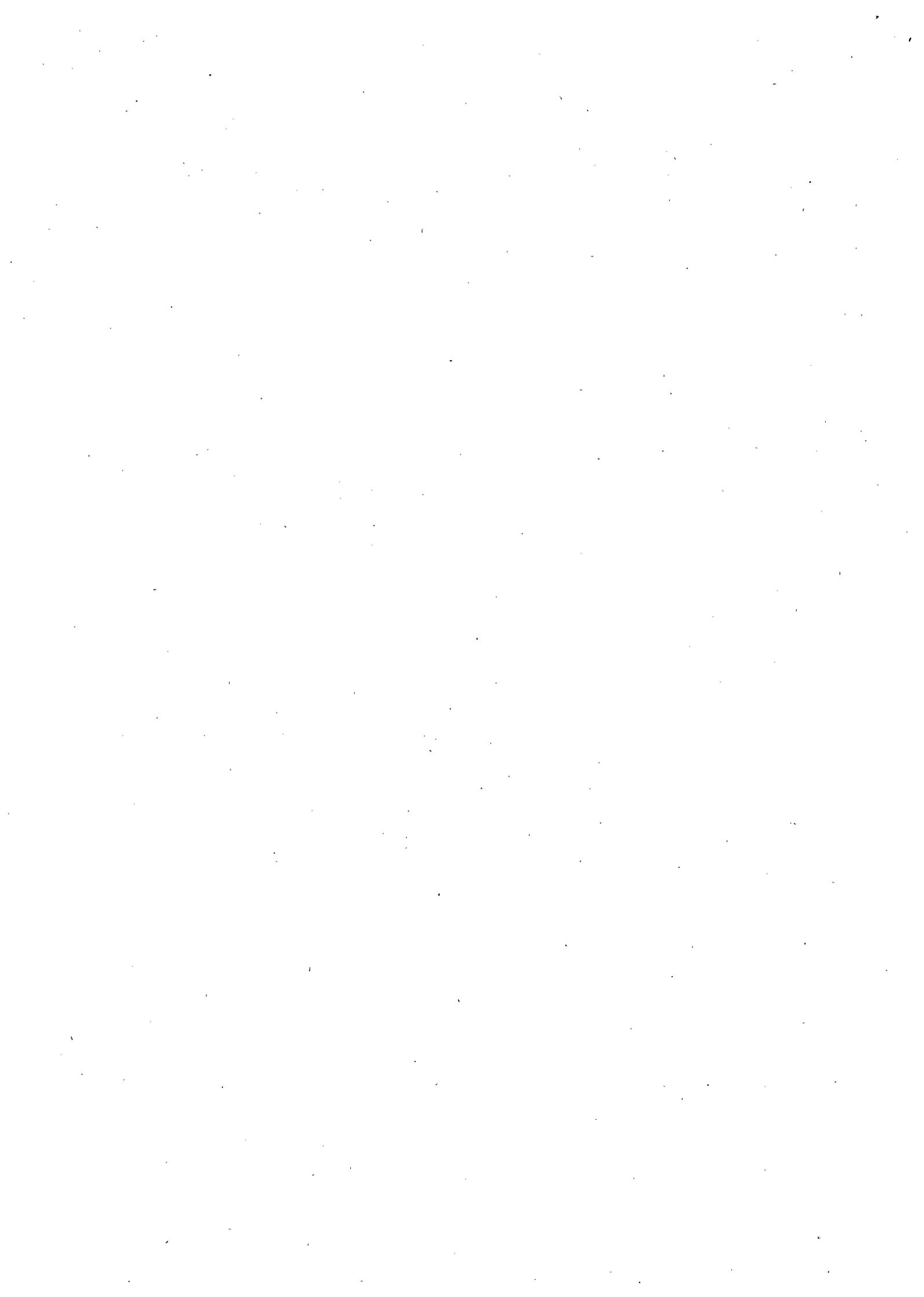
<「賑わいのある」新庁舎とするためには>

- ・多目的スペースで物産展を行うのはどうか
- ・長崎の夜景が見られるように、展望スペースに夜も上がれるようにしてほしい
- ・広場に気軽に休憩できる場所があるとよい など

<「いろんな活用ができる」新庁舎とするためには>

- ・多目的ホールが、世代間、学生同士、様々な職種の交流の場になるとよい
- ・おくんちの練習場所として使えるように、広場は石畳にした方がよい など

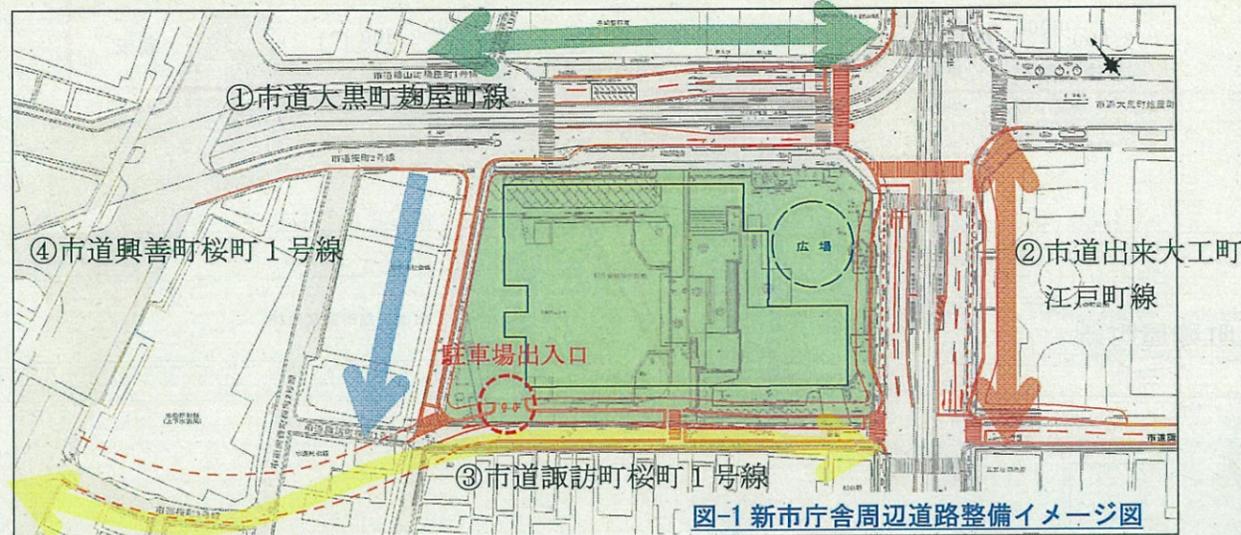




(3) 周辺道路検討状況について

※現在、交通管理者等との協議により、道路幅員や交差点処理の考え方は概ね了解済であるが、信号処理等、今後変更となることも想定されるため、数値が多少変わる可能性がある。

ア 新市庁舎周辺道路の考え方



- ①市道大黒町麴屋町線：幹線道路としての機能
 - ・通過交通の車両が円滑に通行可能な幅員が確保できるよう検討
- ②市道出来大工町江戸町線：幹線道路としての機能
 - ・通過交通の車両が円滑に通行可能な幅員を確保し、車両を阻害しないようにバスベイ等の整備を検討
- ③市道諏訪町桜町1号線：生活道路としての機能
 - ・車道2車線と歩道の整備、速度抑制等の安全対策を検討
- ④市道興善町桜町1号線：生活道路としての機能
 - ・歩道の整備、速度抑制等の安全対策を検討

イ 道路の横断面構成について

表-1 路線別道路計画 ※ () は現況

路線	車道幅員	車線数	歩道の有無	備考
①	3.25m (3.00m~3.60m)	3 (3)	有 (有)	第4種第1級
②	3.25m (2.75m~3.80m)	4 (4)	有 (有)	第4種第1級
③	3.00m (5.00m~5.40m)	2 (1 相互通行)	有 (一部有)	第4種第3級
④	3.00m (約 3.60m)	1 (1 一方通行)	有 (一部有)	第4種第3級

※第4種：都市部の高速自動車国道及び自動車専用道路以外の道路
 第4種の市町村道 第1級：計画交通量 10,000 台/日以上、第3級：計画交通量 500 台以上 4,000 台未満

車道については、将来交通量から幅員、車線数を設定する。
 歩道については、来庁者の主導線を原則として幅員 W=3.5m、その他の導線を幅員 W=2.0m確保するように幅員を設定する。

①②③の新市庁舎側歩道：W=3.5m (最低でも 3.0m 以上)
 (※新市庁舎側の公開空地を一部使用しながら確保)
 その他の歩道：W=2.0m

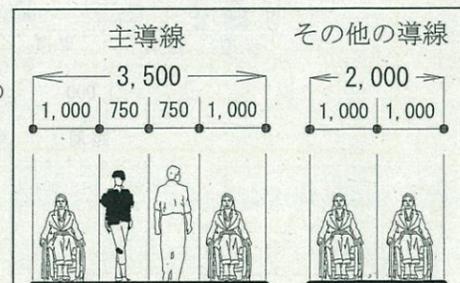


図-2 歩道幅員イメージ図

ウ 発生集中交通量について

(H28.8 来庁者調査結果)
 来庁者：4,350 人/日
 自家用車：1,350 台/日
 ※自家用車利用率 40~42%、
 1 台当りの乗車人数 1.3 人にて補正
 (発生集中交通量)
 (北部) (南部) (東部)
 2,700 台/日 (=1,400 + 700 + 600)



エ 交通量推計 (現況交通量・将来交通量について) ※別館横新設道路整備前

市道諏訪町桜町1号線の市役所別館から市道興善町桜町1号線と交差するまでの区間は、新市庁舎開庁時未供用または暫定供用の部分の可能性もあることから、現況での解析を行っている。

表-2 路線別交通量状況 (百台/日)

路線	現況観測交通量	発生集中交通量	将来交通量	許容交通量	将来 < 許容交通量
①	96	14	110	192	○
②	205	20	225	288	○
③	5	27	32	72	○
④	6	0	6	36	○

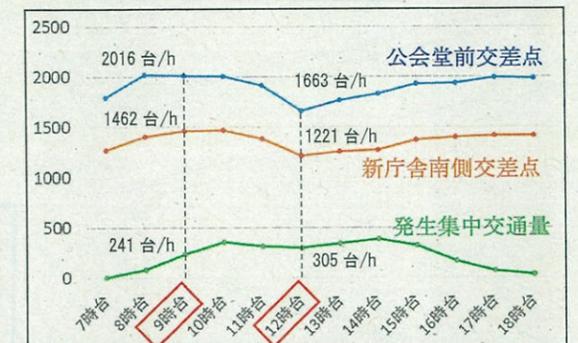


図-4 時間別の周辺道路交通量と発生集中交通量 (台/h)

オ 交差点の処理能力について ※別館横新設道路整備前



図-5 交差点需要率

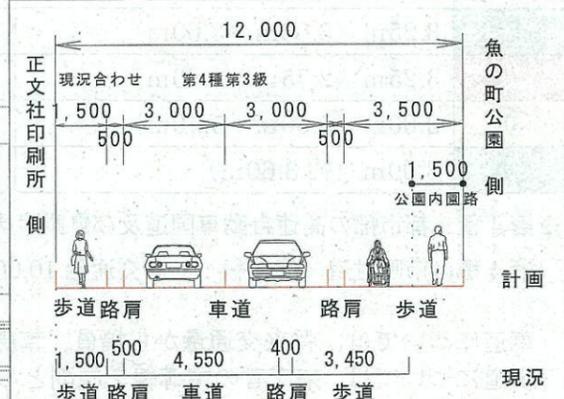
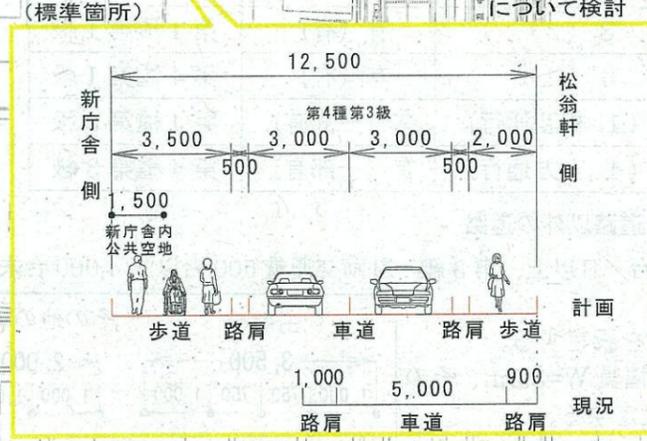
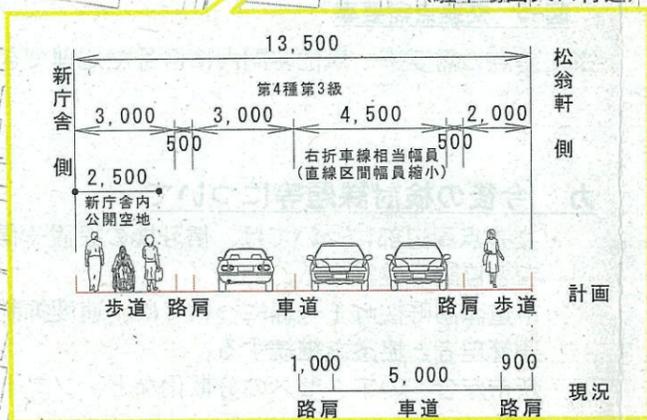
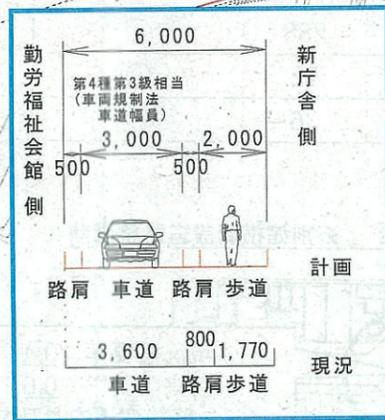
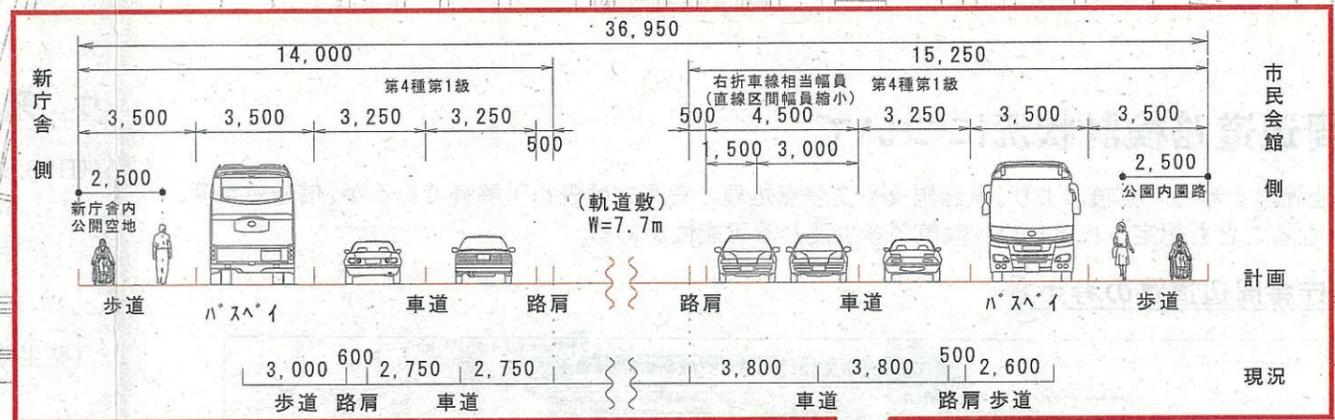
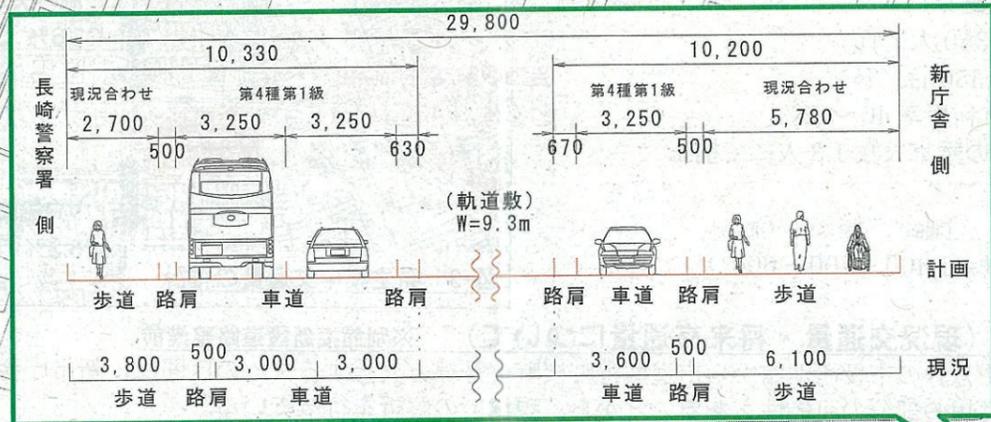
交差点の需要率
 『0.8 程度で部分的に渋滞
 0.9 以上で信号処理不可』
 であるが、右折車の滞留長や、信号現示など、交通シミュレーション等に基づき、引き続き交通管理者と協議が必要

※交差点の需要率：単位時間内に信号で処理できる交通量に対し、実際に流入する交通量の比率

カ 今後の検討課題等について

- ・交差点周辺部については、信号機の設置や信号現示の調整、右折車滞留長等について交通管理者と協議を継続する。
- ・市道諏訪町桜町1号線については、速度抑制の対策等について、地元の意見をふまえながら交通管理者と協議を継続する。
- ・新市庁舎へのアクセスの分散化など、ソフト面の対策について検討を進める。

周辺道路検討状況について (新市庁舎周辺道路計画平面図 素案)



国道34号との
接続部分の検討

③市道諏訪町桜町1号線
(標準箇所)

交差点の信号処理
や右折車の滞留長
について検討

[参考] 歩道幅員イメージ図



必要最小限の歩行者スペース

W=2.0m

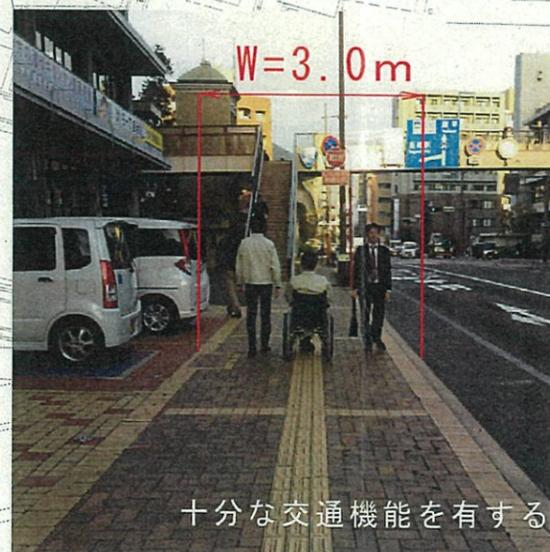
W=3.5m

W=3.5m

W=3.0m

W=2.5m

W=3.0m



十分な交通機能を有する



十分な交通機能とゆとりある空間機能を有する



2 地域コミュニティのしくみづくりについて

(1) スケジュール (案)

項目	平成 29 年度				平成 30 年度
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
<ul style="list-style-type: none"> ・協議会認定要件 ・交付金制度 	制度 (素案) 市内全地区周知 →制度 (案) 作成	所管事項調査 9月議会	所管事項調査 11月議会	当初予算計上 2月議会	交付金 制度施行
	← 地域コミュニティ推進審議会 →				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域説明 ・協議会設立支援 	4月中旬～6月 ① (市長) 地域説明・意見交換会 ⇒制度 (素案) 説明 ※17ブロックに分け実施	6月下旬～12月予定 ② (地域コミュニティ推進室) 地域説明・意見交換会 ⇒制度 (素案) 説明 ※小学校区単位			
	まちづくり計画策定・協議会設立支援 ※全地区一斉一律に設立するものではなく、地域の実情に合わせる				
<ul style="list-style-type: none"> ・市民への周知 	広報ながさき9月号 市つとくながさき放映10・11月 ● ●				
	ホームページへの掲載 (リーフレット、地域説明・意見交換会開催状況)				

(2)地域コミュニティ推進室による地域説明・意見交換会開催状況(69 小学校区)

平成 29 年 11 月 24 日現在

対象 自治会をはじめとした各小学校区内の各種団体（※全ての連合自治会長への説明済み）

■開催済みの地域（48 小学校区）

No.	小学校	連合自治会	日程	参加人数
1	茂木	茂木校区連合自治会	-	-
2	土井首	土井首地区自治連合会	5/19	24
3	南陽			
4	式見	式見地区連合自治会	6/21	35
5	西北	西北校区自治連合会	6/29	46
6	深堀	深堀地区連合自治会	7/1	45
7	横尾	横尾連合自治会	7/15	40
8	小榎	立神地区連合自治会	7/26	34
		小榎連合自治会		
9	戸町	戸町地区連合自治会	7/28	91
10	香焼	香焼地区連合自治会	7/29	28
11	尾戸	尾戸地区自治会	8/18	17
12	形上	形上地区自治会		
13	長浦	長浦地区自治会		
14	村松	戸根地区自治会		
		村松地区自治会		
		西海地区自治会		
		琴海ニュータウン地区自治会		
15	晴海台	(晴海台自治会)	8/19	10
16	橘	橘小学校区自治会連合会	8/20	37
17	仁田 佐古	佐古地区連合自治会	8/26	40
		仁田地区連合自治会		
		仁田地区南部連合自治会		
18	北陽	滑石北陽校区連合自治会	8/26	25
19	小江原	小江原地区自治会連合会	8/28	27
20	滑石	滑石校区連合自治会	8/29	45
21	日吉	日吉校区連合自治会	8/29	45
22	小島	上小島連合自治会	8/30	35
		小島地区連合自治会		
23	上長崎	上長崎地区自治会連合会	8/31	36
		上長崎地区自治会協議会		
24	小ヶ倉	小ヶ倉地区自治会連合会	9/8	15
25	西城山	西城山校区連合自治会	9/9	42

No.	小学校	連合自治会	日程	参加人数
26	高城台	高城台校区自治会連合会	9/10	32
27	外海 黒崎	外海地区連合自治会 (旧出津小学校区)	9/19	39
		外海地区連合自治会 (旧黒崎小学校区)	11/17	21
28	朝日	朝日校区連合自治会	9/20	48
29	野母崎	野母崎樺島連合自治会	9/21	19
		野母連合自治会	10/15	18
		脇岬連合自治会	10/21	17
		高浜連合自治会	11/10	37
30	西町	西町校区連合自治会	9/23	36
31	矢上	矢上校区自治会連合会	9/25	42
32	西坂	西坂地区連合自治会	9/26	37
33	高尾	高尾校区連合自治会	9/27	57
34	為石	為石小学校区連合自治会	9/30	20
35	古賀	古賀地区連合自治会	10/10	32
36	福田	福田地区自治会連合会	10/27	48
37	手熊			
38	伊良林	伊良林校区連合自治会	10/28	52
39	諏訪	磨屋地区自治団体連合会	10/31	57
		新興善地区連合自治会		
40	桜町	桜町地区連合自治会		
41	三原	三原校区連合自治会	11/1	32
42	神浦	外海地区連合自治会	11/2	30
43	稲佐	稲佐校区連合自治会	11/6	45
44	大浦	北大浦地区連合自治会	11/8	57
		南大浦地区連合自治会		
		浪の平地区連合自治会		
45	銭座	銭座校区連合自治会	11/14	22
46	坂本	坂本校区連合自治会	11/16	28
47	蚊焼	蚊焼町連合自治会	11/19	28
48	西山台	-	11/21	32

■開催日程が決定している地域（2 小学校区）

No.	小学校	連合自治会	日程
1	南長崎	ダイヤモンド連合自治会	12/12
2	大園	大園地区連合自治会	12/16

■日程調整中の地域（19 小学校区）

No.	小学校	連合自治会
1	日見	日見地区連合自治会
2	戸石	戸石小学校区連合自治会
3	愛宕	愛宕校区自治会連合会
		愛宕校区第1連合自治会
		田上町連合自治会
4	南	南校区連合自治会
5	飽浦	水の浦地区連合自治会
		飽の浦地区連合自治会
6	城山	城山校区連合自治会
7	桜が丘	小江原ニュータウン合歓の木会
8	三重	三重地区連合自治会
9	畝刈	
10	鳴見台	
11	山里	山里地区連合自治会
12	西浦上	西浦上中央連合自治会
13	女の都	西浦上東部地区自治連合会
14	川平	
15	虹が丘	虹が丘小学校区連合自治会
16	伊王島	-
17	高島	高島町自治会連合会
18	川原	川原地区連合自治会
19	池島	外海地区連合自治会



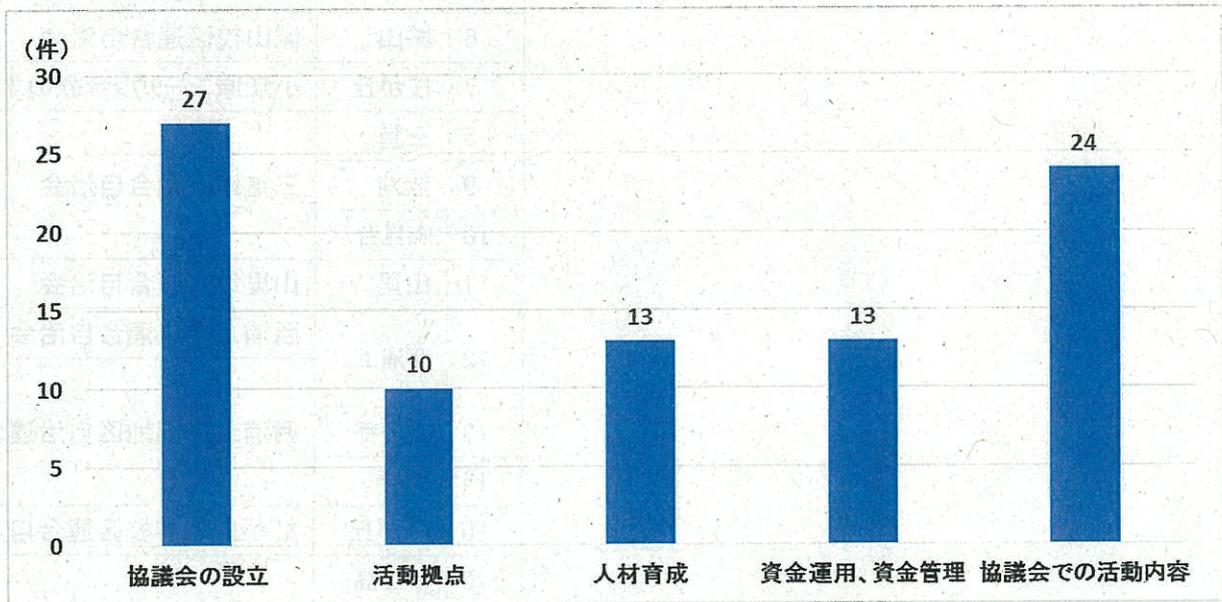
(3) 地域づくり先進地視察（佐賀市）

ア 視察概要

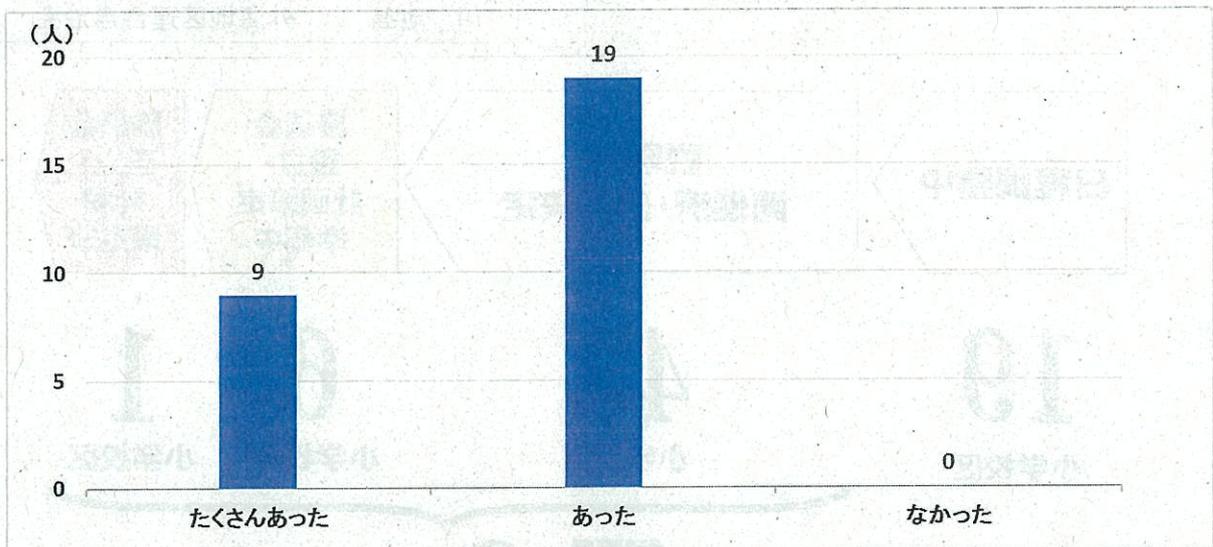
- ・日時：平成 29 年 10 月 26 日（木）
- ・参加者：30 名（自治会、社会福祉協議会地区支部等）
- ・視察先：赤松校区まちづくり協議会、川上校区まちづくり協議会

イ アンケート結果（回答者：28 名）

① どのようなことが参考になりましたか（複数回答可）



② 協議会について、新たな発見や今後の活動の参考になることはありましたか



③ 主な意見、感想等

- ・小学校区で協議会を立ち上げているのでまとまりやすいと感じた。
- ・協議会は自治会活動にプラスして新たな活動が増えるので、その分、会長や役員
の負担が増えるのでは、という考え方が少し変わった。
- ・「校区の現状分析」→「目標設定」→「目標実現のための取り組み」の流れが良
く理解できた。じっくり時間をかけて着実に前進したい。
- ・リーダーシップを執る人の存在が重要だと感じた。自治会や各種団体にどう声掛
けをして話し合いの場をつくっていけばよいのかわからない。市の協力が必要だ
と思う。
- ・先進地の生の声が聞けて参考になる部分が沢山あった。自分たちの会合等で活か
していきたい。
- ・各種団体の世代交代の時期に来ており、その運営のあり方を見直す必要性を感じ
ているが、その新たな形として、地域コミュニティの協議会が大きなきっかけに
なるのではないかと思った。
- ・ワークショップを数回開催し、まちづくりの原点を掘り起こしていくことが重要
なポイントであることがよく理解できた。若い世代が多く参加できるようにこれ
からの進め方に活かしてもらいたい。
- ・各種団体の代表者のみではなく、一般の住民に参加していただけるように取り組
んでいきたい。
- ・先進地の話を聞いて取り組んだ方が良いことはわかった。市民の意識をいかに盛
り上げていくのが課題だと思う。

[赤松校区]



[川上校区]



